

## 福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童・生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和4年5月31日

学校名 本郷小学校

校長氏名 松山 幸市

様式第2号

(提出日) 令和5年1月27日

### 1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 本郷地区の環境について学習します。
- ② 学校で節電・節水・ごみの分別に努めます。
- ③ 地域と連携し、清掃活動やリサイクル、地域美化につとめます。

### 2 取組内容

- ① 環境学習
  - ・本郷地区の自然環境について学習します。
- ② 節電・節水・ごみの分別の取組
  - ・整美委員会で、節電・節水・ごみの分別を呼びかけます。
  - ・各教室に雑紙回収ボックスを設置し、古紙回収やごみの分別を徹底します。
- ③ 地域と連携して分別回収・清掃美化活動
  - ・アルミ缶や古紙の回収、清掃活動を PTA や地域と連携して実施します。
  - ・公民館花壇の苗植えに参加し、水やりを担当して地域の美化に努めます。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載して下さい。)

- ③の資源回収では、保護者・児童・教職員・地域住民など様々な人といっしょに行うことで、互いに協力する力を身につける。(コミュニケーション・協力)

学校名

# 本郷小学校



## 1 今年度の目標（学校の約束）

- ① 本郷地区の環境について学習します。
- ② 学校で節電・節水に努めます。
- ③ 地域と連携し、清掃活動やリサイクルにつとめます。

## 2 取組内容

### ① 環境学習（1～4年生）

自然史博物館の学芸員を講師に招いて、本郷地区の生き物についての学習を行いました。1・2年生は、地区の田んぼに行って、田んぼに生息する水生生物の観察をしました。カエルやヤゴ、カワニナ、ドジョウなどの生物を捕まえたり、触ってみたりして、たくさんの生き物がいることを実感していました。



3・4年生は、さわらび山の植物についての講義を受けた後、さわらび山に登って、生えている植物について教えてもらったり、昆虫を見つけたりしました。普段よく見ているはずの竹と笹の違いや草と木の違いを知り、驚いていました。さらに、見逃してしまいそうな小さな蝶や、朽ち木の下に隠れている虫、変わった生態を持つ虫などについても、学芸員に話を聞かせてもらい、身近な自然とふれ合っていました。



### ② 節電・節水・ごみの分別

手洗いを毎日何度も行っていますが、その際の水の出し過ぎ、止め忘れに注意するよう委員会を中心に呼びかけました。また、教室の移動時や清掃時間など短い時間でも電気を消すようにポスターなどを使って呼びかけました。各教室では、係などを作って消し忘れなどに注意をするようになりました。教員にも意識付けを行い、無駄遣いのないように気をつけています。

### ③ 地域と連携した環境整備活動

- ・古紙の回収を PTA や地域と連携して実施しました。
- ・公民館の花壇を 1・2 年生がひまわり、3・4 年生がマリーゴールドを植えて、整備しました。集団下校で帰る班が、交代で水やりをし、夏にはきれいな花が咲きました。地区がきれいな花で美くなりました。

古紙回収

1・2年 ひまわり植え

3・4年マリーゴールド植え



### ★ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

③の資源回収、花の苗植えでは、保護者・児童・教職員・地域住民の方など様々な人といっしょに行うことで、互いに協力する力を身に付けることができました。（コミュニケーション・協力）

3  
見直し

#### 【具体的効果】

- ① 専門家の方に身近だけど意外と知らない植物や生き物のことを教えていただき、地域の自然について考えるきっかけとなりました。本郷地区は自然の豊かさが自慢だと思っている児童が多く、環境を大切にしていこうとする意識が芽生えてきました。
- ② 児童が積極的に節電・節水に関心をもち、学校全体で節約に対する意識が高まってきました。ごみの回収も自分達で行い、雑紙の回収も自然に分別ができています。
- ③ 資源回収などのリサイクル活動は、ほとんどの家庭が協力しています。公民館の花壇を整備することで、地域をきれいにしようという意識も高まっています。

#### 【改善点】

- ・今後も、環境学習を取り入れ、地域の環境に関する意識を高めていきたいです。
- ・さらにSDGsの項目と関連付けて、自分たちにできることを考えて実践していきたいです。
- ・節電、節水、省エネ活動がマンネリ化し、児童もあまり関心がない様子が見られます。手洗い時の水の使い方などをさらに意識付けしていきたいと思います。また、各家庭でも実践できるように手立てを考えていきたいです。
- ・今年度も、コロナの影響で、資源回収に児童を参加させることができませんでした。来年度は、児童の参加ができるといいです。資源回収を今後も継続することで、家庭でも正しくごみを分別し、資源を大切にすることを育てていきたいです。